

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-515885 (P2005-515885A)

【公表日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)

【年通号数】公開・登録公報 2005-021

【出願番号】特願 2003-563705 (P2003-563705)

【国際特許分類】

B 0 1 J 13/00 (2006.01)

C 0 9 K 3/00 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 13/00 A

C 0 9 K 3/00 1 1 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 14 日 (2005.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

二液型発泡体組成物の調製のための方法であって、

i) 1 または多数のスターラーブレードを持つスターラーを装備した混合容器に、二液型発泡体の調製のための表面活性剤を場合により含有する連続極性相を導入するステップであって、スターラー機構の少なくとも 1 の部分が連続極性相と空気との間の界面を破壊するような方法でスターラーが作動する、ステップと、

i i) 連続極性相を攪拌するステップと、

i i i) 二液型発泡体の調製のための表面活性剤を場合により含有する非極性相を、少なくとも最初は制御された速度にて攪拌を続けながら、連続極性相に添加するステップであって、連続極性相の表面に存在する非極性相の液滴が連続極性相と非極性相との間の界面を破壊するスターラーブレードの作用によってより小さい液滴に分散されるように、非極性相の添加速度が制御され、表面活性剤が極性または非極性相の少なくとも一方に包含されねばならないことが理解される、ステップと、

i v) それにより連続極性相のフィルム内にカプセル化された非極性相液滴を含む複数の二液型発泡体粒子を形成するステップであって、その粒子が二液型発泡体の調製のためのさらなる表面を提供する核形成部位として作用する、ステップと、を含む方法。